

平成25年度全国学力・学習状況調査結果(滋賀県 国語科)の概要

1. 小学校の調査結果(滋賀県 公立)

< 国語 A (知識) >について

◇は相当数の児童生徒ができている点、◆は課題のある点

分類	区分	平均正答率(%)	
		滋賀県(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	34.7	43.2
	書くこと	47.2	53.0
	読むこと	53.3	60.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	59.2	62.6
問題形式	選択式	61.6	66.3
	短答式	59.0	61.9
	記述式	37.0	44.9

< 国語 B (活用) >について

分類	区分	平均正答率(%)	
		滋賀県(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	61.9	64.8
	書くこと	41.1	43.8
	読むこと	44.6	47.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	60.4	63.8
問題形式	選択式	57.1	59.7
	短答式	42.5	45.9
	記述式	40.1	42.5

◇国語A(知識)では、一部に課題はあるが、漢字の読みやことわざの意味理解については、相当数の児童ができています。

◆どの区分においても、平均正答率が全国を下回っている。国語A(知識)では、「主語と述語との関係や接続語の役割を押さえながら文を分析的に捉えること」、国語B(活用)では、「目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用したり複数の内容を関連付けたりしながら、自分の考えを書くこと」に課題が見られる。

2. 中学校の調査結果(滋賀県 公立)

< 国語 A (知識) >について

分類	区分	平均正答率(%)	
		滋賀県(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	76.3	77.6
	書くこと	64.0	64.5
	読むこと	79.5	80.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.5	77.5
問題形式	選択式	76.3	77.3
	短答式	73.9	74.7
	記述式	該当問題なし	該当問題なし

< 国語 B (活用) >について

分類	区分	平均正答率(%)	
		滋賀県(公立)	全国(公立)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	該当問題なし	該当問題なし
	書くこと	58.9	62.7
	読むこと	66.4	67.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	59.5	64.6
問題形式	選択式	67.0	68.2
	短答式	78.6	77.5
	記述式	58.9	62.7

◇国語A(知識)では、どの区分においても平均正答率の全国との差が0.5~1ポイント以内である。

◆国語B(活用)では、すべての区分において、平均正答率が全国を下回っている。特に、自分の考えを書くという記述式の問題に課題がある。

<課題が見られた問題 小学校国語(A)>

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)	
				滋賀県	全国	滋賀県	全国
1 二(2)	漢字を書く (パスが <u>ていしゃ</u> した)	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	短答式	41.3	46.9	12.6	11.0
3 二(1)	接続語を使って1文を2文に分けて書く	書くこと 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	短答式	19.3	23.4	12.5	10.3
4 ア	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、年代ごとの割合から分かることを書く	書くこと	短答式	68.0	72.4	15.9	11.9
4 イ		書くこと	短答式	64.4	71.3	24.7	18.1
4 ウ	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、全体から分かることを書く	書くこと	記述式	37.0	44.9	27.9	20.3
5 ア	マナーに関する広告を読み、編集の仕方の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する	読むこと 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	選択式	55.6	61.1	15.5	9.2
5 イ		読むこと 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	選択式	63.8	71.7	17.1	10.3
6 ア イ	焚火とその周りの景色との関係を表したものであるものとして適切なものを選択する	読むこと 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	選択式	40.5	47.5	23.3	14.4
7	選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものであるものとして適切なものを選択する	話すこと・聞くこと 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	選択式	34.7	43.2	34.4	21.9

* 3 二(1)は、平成21年度国語A 8と同一問題であり、文を分析的に捉えることに、依然として課題がある。

【特に課題が見られた問題と解答状況】

3 二(1) 出題の趣旨 文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことができるかどうかをみる。

<解答類型>

解答類型	反応率		正答
	滋賀県	全国(公立)	
1 右に示す	19.3	23.4	◎
9 上記以外の解答	68.2	66.3	
0 無解答	12.5	10.3	

<主な誤答例>

- ・一文目の文末が句点で完結していない。
- ・一文目の主語に対応した終わり方になっていない。
- ・与えられた条件に合うような表記になっていない。

<学習指導に当たったポイント>

○文の定義を理解し、構成に注意して書く!

★学年に応じた螺旋的・反復的な「文及び文章の構成」の指導が大切となる。

【第1・2学年】文の中における主語と述語の関係

【第3・4学年】指示語や接続語(文と文のつながり)

【第5・6学年】重文や複文(文の構成)

特に、重文や複文の指導については、2つ以上の内容を必要に応じて1つの文に書き換えたり、2つ以上の内容が含まれた1文を内容ごとに複数の文に分けて書いたり、箇条書きにしたりするなど、言語を操作する指導が大切である。



新しく委員になった五年生は、そうにしていた。だから、ぼくは、これまで
 (中略) 教えてあげたいと思った。

3 次の「文章の一部」は、六年生の高島さんが五年生のときから続けている放送委員の仕事について書いたものです。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章の一部】

放送委員会の役員を決める話し合いをした。ぼくは、委員長を任せられることになった。新しく委員になった五年生は、放送機器の使い方が分からなくて不安そうにしていたので、ぼくは、これまでの経験を生かして、いろいろなことを教えてあげたいと思った。

二 「文章の一部」の中の「――部を、主語に注目して二つの内容に分けて書き直します。つなが言葉には、「だから」を使います。

(1) 一つ目の文の終わりの七文字と、二つ目の文の「だから」に続く七文字を書き直しましょう。なお、読点(、)も字数にふくみます。

<課題が見られた問題 小学校国語(B)>

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)	
				滋賀県	全国	滋賀県	全国
2二	【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く	書くこと	短答式	23.7	26.2	17.7	13.3
2三	複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く	書くこと	記述式	15.6	17.8	24.7	20.4
3一イ	【花田さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く	読むこと	短答式	40.9	45.3	35.2	28.8
3一ウ	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く	読むこと	短答式	40.7	44.6	36.7	30.6

*2三は、平成21年度国語B1二と類似の問題であり、自分の考えを書くことに、依然として課題がある。

【特に課題が見られた問題と解答状況】

2三 出題の趣旨 目的や意図に応じ、複数の内容を関連付けながら自分の考えを具体的に書くことができるかどうかをみる。

<正答の条件>

次の条件を満たして解答している。

- ① 【下書きの一部】の「2打ち上げ花火の種類」と「3花火師の小野さんの声」の「イ つくり出す伝統」の両方から内容を取り上げている。
 - a 「型物」についての内容を取り上げている。
 - b 「色(中間色・カラフル)」についての内容を取り上げている。
 - c 「音楽」についての内容を取り上げている。
- ② ①で取り上げた内容について、考えたことを具体的に書いている。
- ③ 書き出しの文に続けて、80字以上、100字以内で書いている。

<解答類型>□…条件を満たしているもの

▲…条件を満たしていないもの(無解答を含む)

解答類型	正答の条件					反応率		正答
	①a	①b	①c	②	③	滋賀県	全国(公立)	
1	□	□	□	□	□	3.4	4.1	◎
2	□	▲	▲	□	□	12.3	13.7	○
3	□	▲	▲	□	▲	2.4	2.0	
4	▲	▲	▲	□	□	26.8	30.1	
5	▲	▲	▲	□	▲	2.7	2.4	
9	上記以外の解答					27.9	27.2	
0	無解答					24.7	20.4	

<学習指導に当たってのポイント>

○編集の目的や意図に応じ、複数の内容を関連付けながら自分の考えを書く!

- ★事実と考えを明確に区別して書く。
- ★目的や条件に合わせた上で、中心となる自分の考えを明確にして内容をまとめる。
- ★字数制限などの指定された条件に合わせて書く。



2

【リーフレットの表紙】

打ち上げ花火の伝統

打ち上げ花火は、いつから人々の目を楽しませてきたのでしょうか。また、花火師たちはどのような種類の打ち上げ花火を作り出してきたのでしょうか。

※リーフレットとは、一枚の紙を折りたたんで使った内容を書き直してあります。これをよって、次の「下書きの一部」を書きました。そして意見をもとに書き直してあります。これをよって、

今村さんの学級では、グループごとに日本をテーマに、今村さんたちのグループでは、

【編集会議での町田さんと山下さんの意見】

町田さん 「3まどめ」には、題名「打ち上げ花火の伝統」に合う内容を書いたほうがいいと思うわ。書き出しの文(「打ち上げ花火は、…伝統といえます。」)は、「歴史」に注目し、「1 打ち上げ花火の歴史」の内容をまとめているわね。

山下さん それに続く内容は、「現在」の打ち上げ花火に注目し、「2 打ち上げ花火の種類」と「3 花火師の小野さんの声」の「イ つくり出す伝統」の中に書かれている。現在における打ち上げ花火の形や色、打ち上げるときのかぶりを取り上げて書いたほうがいいね。そして、最後に考えたことをまとめて書いてみようかな。

三 今村さんたちは、「4まどめ」の「C」を受けて、書き出しの文に続く内容を考えました。あとの条件に合わせて書きましよう。

正答例

解答類型 1 a b c 2 3

a

・1 現在では、型物の開発が進んでいます。また、b 中間色も使ったカラフルな花火を作ったり、c 音楽に合わせて打ち上げたりしています。長い伝統を受けつぎ、新たなことに挑戦する花火師さんたちの思いに感動しました。(100字)

100字

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましよう。
※筆の印から書きましよう。どっちようで行を戻さないで、続けて書きましよう。

<課題が見られた問題 中学校国語(A)>

設問番号	設問の概要	学習指導要領の領域	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)	
				滋賀県	全国	滋賀県	全国
8 三 ア	適切な語句を選択する (今年の夏の暑さには閉口した)	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	短答式	45.8	46.6	2.3	1.7
8 三 イ	適切な語句を選択する (友達に将来の抱負を話す)			57.3	62.7	1.2	0.8
8 三 ウ	適切な語句を選択する (あこがれの仕事に就く)			95.5	96.3	1.1	0.7
8 三 エ	適切な語句を選択する (直前になって、二の足を踏む)			82.3	84.8	1.4	0.9
8 三 オ	適切な語句を選択する (にわかには強い雨が降り出し、人々はあわてた)			81.9	81.3	1.4	0.9

*ア・イの正答率は、他の問題に比べて低い傾向にあり、イについては全国との比較において差異が大きい。

【特に課題が見られた問題と解答状況】

8 三 ア・イ 出題の趣旨 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができるかどうかをみる。

<解答類型>

※太字かつ下線付きの箇所が、正答を表す。波線は、特徴的な部分を示す。
※解答類型の内容については、「平成25年度【中学校】解答類型.pdf」を参照。

設問番号	(公立を含む)	解答類型					無解答
		1	2	3	4	9	
8 三 ア	滋賀県	2.2	<u>42.6</u>	7.1	<u>45.8</u>	0.0	<u>2.3</u>
	全国	2.0	42.4	7.2	<u>46.6</u>	0.0	1.7
8 三 イ	滋賀県	<u>57.3</u>	2.4	<u>38.0</u>	1.1	0.0	1.2
	全国	<u>62.7</u>	2.2	33.3	1.1	0.0	0.8
8 三 ウ	滋賀県	1.5	0.7	<u>95.5</u>	1.2	0.0	1.1
	全国	1.3	0.6	<u>96.3</u>	1.0	0.0	0.7
8 三 エ	滋賀県	<u>82.3</u>	12.7	2.4	1.1	0.0	1.4
	全国	<u>84.8</u>	10.9	2.4	1.0	0.0	0.9
8 三 オ	滋賀県	7.0	2.4	7.2	<u>81.9</u>	0.0	1.4
	全国	7.6	2.3	7.9	<u>81.3</u>	0.0	0.9

<学習指導に当たったのポイント>

○文脈の中で語句の意味を理解する！

★語句の辞書的な意味を基にして、多様な言語活動を通して文脈の中での意味を捉えること

➡ 同音異義語について、用いられている漢字や前後の文脈から意味を考えることなどが有効！

★話や文章の中で使い慣れること

➡ 小学校の学習を踏まえて様々な慣用句やことわざに触れ、話や文章の中で使い慣れるように指導することが重要である。

[参考] 平成21年度全国学力・学習状況調査【中学校】
国語A 8三に係る授業アイデア例

8 次の一から七までの各問いに答えなさい。

三 次のアからカの文では、()の中の1から4までのうち、どれが最も適切ですか。それぞれ一つずつ選びなさい。

ア 今年の夏の暑さには(1平行 2平衡 3並行 4閉口)した。

イ 友達の将来の(1抱負 2初心 3意志 4感想)を話す。

ウ あこがれの仕事に(1付く 2突く 3就く 4着く)。

エ 直前になって、二の足を(1踏む 2舞う 3進む 4歌う)。

オ (1ならかに 2ささやかに 3ひそやかに 4にわかには)強い雨が降り出し、人々はあわてた。

カ 後には、いくら言っても「(1猿 2馬 3牛 4猫)の耳に念仏」で効果がない。

